

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月13日

東

上場会社名 福留ハム株式会社 上場取引所  
コード番号 2291 URL 082-278-6161  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 治彦  
問合せ先責任者(役職名) 理事 経理部長 (氏名) 深町 誠 (TEL) 082-278-6161  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,673	4.6	△199	—	△176	—	290	—
2023年3月期第2四半期	12,113	△1.2	△179	—	△157	—	△170	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 158百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △235百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	86.96	—
2023年3月期第2四半期	△51.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,137	2,385	16.9
2023年3月期	13,706	2,227	16.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,384百万円 2023年3月期 2,226百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	2.4	△320	—	△280	—	180	—	53.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	3,400,000株	2023年3月期	3,400,000株
2024年3月期2Q	63,132株	2023年3月期	63,050株
2024年3月期2Q	3,336,943株	2023年3月期2Q	3,336,973株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に引き下げられたことにより、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、長期化する地政学的リスクによるエネルギー価格や原材料価格の高止まり、さらには世界的な金融引き締めによるインフレが継続するなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストの上昇が企業収益を圧迫しており、更なる物価上昇懸念等の影響による先行きへの不安から消費者の低価格・節約志向は一層厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や人手不足等による労働コストの上昇などの影響により、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、成長戦略構築と収益体質改善を最優先課題と位置づけ、「商品の競争力強化」、「営業力強化による販路拡大」、「業務の見直しによる収益構造改革」の三点に取り組み、これら重点施策の展開を実行してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、126億73百万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。利益につきましては、営業損失は1億99百万円(前年同四半期は営業損失1億79百万円)、経常損失は1億76百万円(前年同四半期は経常損失1億57百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、有価証券売却による特別利益を5億35百万円計上したことにより、2億90百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億70百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 加工食品事業

加工食品事業におきましては、人流の拡大やインバウンド消費が活発化するなど、市場が回復した事により、業務筋や外食関連においてウイナー群の大袋商品が堅調に推移いたしました。また、価格改定に伴う販売価格の上昇もあり、売上高は増加いたしました。利益につきましては、原価低減や生産性の向上を図り、コスト削減に努めてまいりましたが、同業他社との価格競争の激化に加え、想定を上回る原材料価格やエネルギーコスト等の上昇により収益を圧迫し、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は55億79百万円(前年同四半期比6.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1億7百万円(前年同四半期比15.3%減)となりました。

#### 食肉事業

牛肉におきましては、物価高に起因した消費者の生活防衛意識は継続して高く、国産牛肉は和牛等の高価格帯の販売が低調に推移いたしました。また、輸入牛肉におきましても円安による仕入コストの上昇により販促機会が減少し、今夏の猛暑の影響もあり取扱量が減り、牛肉全体の売上高は減少いたしました。利益につきましては、国産牛において、和牛は減少も交雑牛の販売拡大が図れたことや利益が見込まれる内臓系の希少部位の仕入拡大と販売強化により、利益は増加いたしました。豚肉におきましては、国産ブランド豚の販売強化による取扱量の拡大に取り組んだことや、輸入豚肉における外食・中食等の業務筋に向けての冷凍商材の販売強化と販路の拡大に注力し、豚肉全体の売上は増加いたしました。利益につきましては、国産豚肉相場が高値で推移した影響により、仕入価格上昇分の価格転嫁に苦戦し、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は70億93百万円(前年同四半期比3.2%増)、セグメント損失(営業損失)は16百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)26百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産等の状況

##### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億30百万円増加の141億37百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億49百万円増加の68億96百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1億24百万円、受取手形及び売掛金4億45百万円、商品及び製品66百万円、原材料及び貯蔵品1億20百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少の72億41百万円となりました。主な要因は、投資有価証券3億10百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億72百万円増加の117億51百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加の78億67百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金3億49百万円と未払法人税等50百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億8百万円減少の38億84百万円となりました。主な要因は、長期未払金3億28百万円の増加と長期借入金1億49百万円、役員退職慰労引当金3億56百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億58百万円増加の23億85百万円となりました。主な要因は、利益剰余金2億90百万円の増加とその他有価証券評価差額金1億34百万円の減少によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加の22億74百万円(前連結会計年度比5.8%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億37百万円(前第2四半期連結累計期間は1億60百万円の資金使用)となりました。主な要因は、減価償却費2億17百万円、売上債権の増加額4億45百万円、棚卸資産の増加額1億86百万円、仕入債務の増加額2億98百万円と税金等調整前四半期純利益3億59百万円、投資有価証券売却益5億35百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、5億3百万円(前第2四半期連結累計期間は1億80百万円の資金使用)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億51百万円と投資有価証券の売却による収入6億60百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億41百万円(前第2四半期連結累計期間は1億56百万円の資金使用)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出1億49百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、2023年8月10日に公表したものと修正いたしました。詳細は本日別途公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,319	2,444
受取手形及び売掛金	2,584	3,029
商品及び製品	967	1,034
仕掛品	39	38
原材料及び貯蔵品	214	334
その他	40	34
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	6,147	6,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,177	2,198
機械装置及び運搬具（純額）	714	711
土地	2,247	2,247
リース資産（純額）	73	58
その他	45	48
有形固定資産合計	5,258	5,263
無形固定資産	99	91
投資その他の資産		
投資有価証券	1,995	1,684
その他	304	298
貸倒引当金	△98	△97
投資その他の資産合計	2,201	1,885
固定資産合計	7,559	7,241
資産合計	13,706	14,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,190	2,540
短期借入金	4,253	4,283
未払法人税等	46	96
賞与引当金	154	157
その他	742	789
流動負債合計	7,387	7,867
固定負債		
長期借入金	1,951	1,802
役員退職慰労引当金	356	-
退職給付に係る負債	1,445	1,486
長期未払金	-	328
その他	338	266
固定負債合計	4,092	3,884
負債合計	11,479	11,751
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△2,451	△2,161
自己株式	△81	△81
株主資本合計	1,662	1,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	420
退職給付に係る調整累計額	8	11
その他の包括利益累計額合計	563	431
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,227	2,385
負債純資産合計	13,706	14,137

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	12,113	12,673
売上原価	10,161	10,714
売上総利益	1,952	1,959
販売費及び一般管理費	2,131	2,158
営業損失(△)	△179	△199
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	28
不動産賃貸料	27	28
その他	17	17
営業外収益合計	71	73
営業外費用		
支払利息	33	34
不動産賃貸費用	13	15
その他	3	0
営業外費用合計	49	50
経常損失(△)	△157	△176
特別利益		
投資有価証券売却益	-	535
特別利益合計	-	535
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△157	359
法人税、住民税及び事業税	12	69
法人税等合計	12	69
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	290
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170	290



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△134
退職給付に係る調整額	12	3
その他の包括利益合計	△64	△131
四半期包括利益	△235	158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235	158
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△157	359
減価償却費	227	217
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	△356
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△60	43
受取利息及び受取配当金	△26	△28
支払利息	33	34
補助金収入	△2	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△535
売上債権の増減額(△は増加)	△105	△445
棚卸資産の増減額(△は増加)	△156	△186
仕入債務の増減額(△は減少)	90	298
長期未払金の増減額(△は減少)	-	328
その他	21	59
小計	△130	△209
利息及び配当金の受取額	26	28
利息の支払額	△33	△29
補助金の受取額	2	-
法人税等の支払額	△25	△26
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160	△237
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△171	△151
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
投資有価証券の売却による収入	-	660
無形固定資産の取得による支出	△1	△5
その他	0	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180	503
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	30
長期借入金の返済による支出	△126	△149
リース債務の返済による支出	△29	△22
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△497	124
現金及び現金同等物の期首残高	2,184	2,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,686	2,274

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,236	6,877	12,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,236	6,877	12,113
セグメント利益又は損失(△)	127	△26	100

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	100
全社費用(注)	△280
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△179

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,579	7,093	12,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,579	7,093	12,673
セグメント利益又は損失(△)	107	△16	90

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	90
全社費用(注)	△290
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△199

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。